



力を合わせて地引き網を引く児童(提供)

浜辺で「地引き網」挑戦

田原若戸小 全校児童が春の遠足

田原市若見町の市立若戸小学校(小林琢校長)の全校児童78人が20日、春の遠足を楽しんだ。

雲一つない晴天の下、児童らは班ごとに分かれて学校を出発、赤羽根港を清掃してから近くの浜

辺で地引き網に挑戦。2チームに分かれ、綱引きの要領で声を上げて力いっぱい網を引いた。

昼食は「道の駅あかばねロケーション」で取り、一年生の歓迎会をして、午後は「マル力農

園」でイチゴ狩りをしてお昼のデザートを楽しんだ。地域の人々や保護者らも参加し、地域一体となって交流した。去年は新型コロナウイルス禍の影響でできなかった遠足とあって、児童も全力で楽しんでいた。

小林校長は「PTAと地域の皆さまの協力があったて実現しました」と関係者に感謝した。

【岸侑輝】

令和3年4月22日(木) 東愛知新聞より